

イタリアから学んだ「暮らしと稼ぐ」

～地域資源を組み合わせることにより付加価値向上を目指す
「玄さんバッジ制度」の導入～



玄海町
今本 暁

1

本日の提案の流れ

- ・ 民宿の集客拡大と、
- ・ 食や農、観光関連業との連携による経済効果の拡大のための、
町独自の認証制度導入の提案

- 0 玄さんバッジの概要
- 1 玄海町観光の現状と課題
- 2 イタリアに学ぶ「暮らし」の資源化
- 3 施策提案：玄さんバッジ制度
- 4 期待される効果と将来像

1

2

00

玄さんバッジ制度の概要

1. 食 玄海町産食材の使用
2. 泊 観光客がくつろげる客室環境
3. 体験 町内スポットの利用など、独自の体験プランを持つこと。
4. 認知 玄さんバッジの掲示とホームページの活用

町独自の認証制度導入の提案

2

3

01

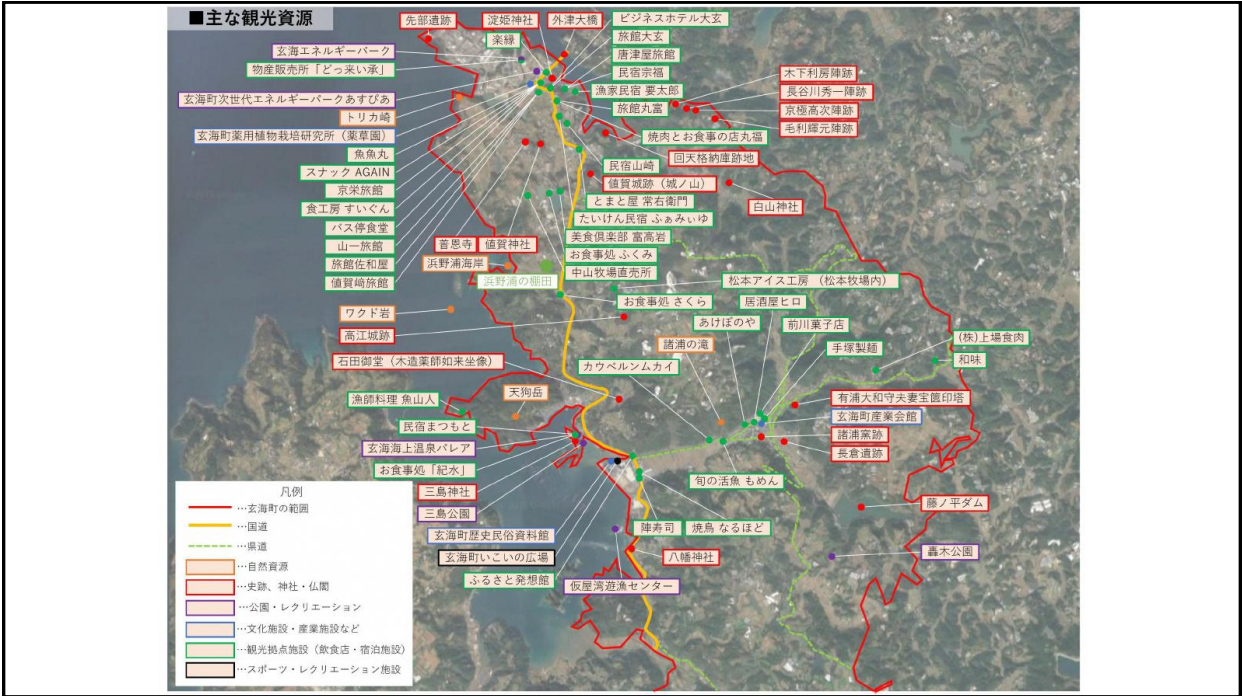
玄海町観光の現状と課題

2

4

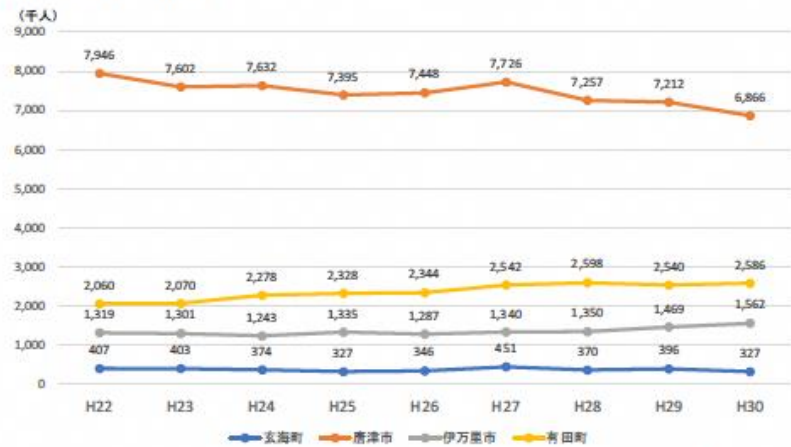


5



6

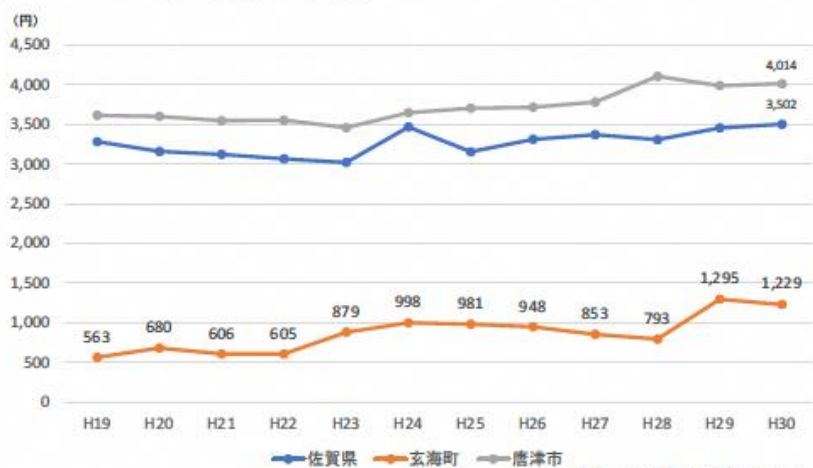
【観光入込客数の推移】



出典：佐賀県入込客推計調査

7

【一人あたりの観光消費額の推移】



出典：佐賀県観光客動態調査

8

観光消費額が伸び悩む要因

周辺自治体との格差分析による現状把握

玄海町の現状

理想・周辺自治体

通過型観光

滞在スタイル

滞在・周遊型

少ない

宿泊客数

安定した集客

低い

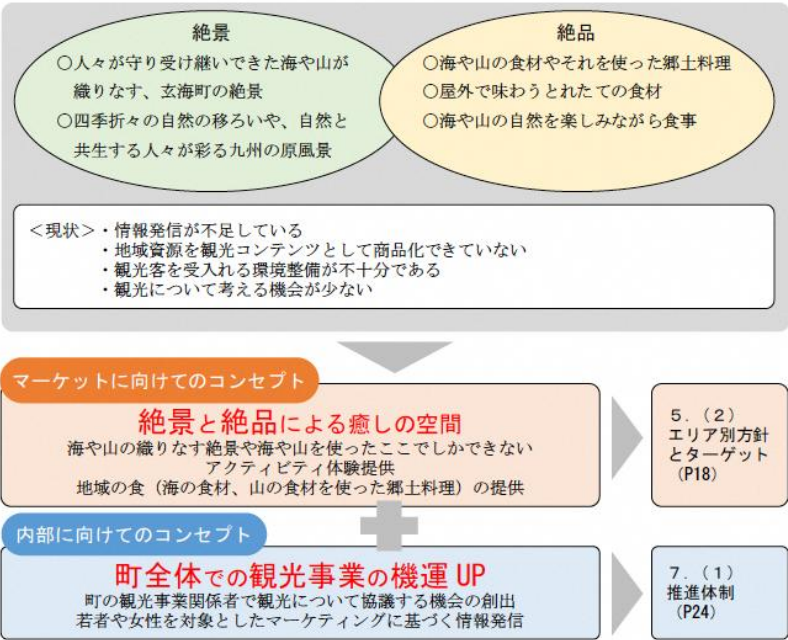
一人当たり消費

飲食・体験で高単価

3

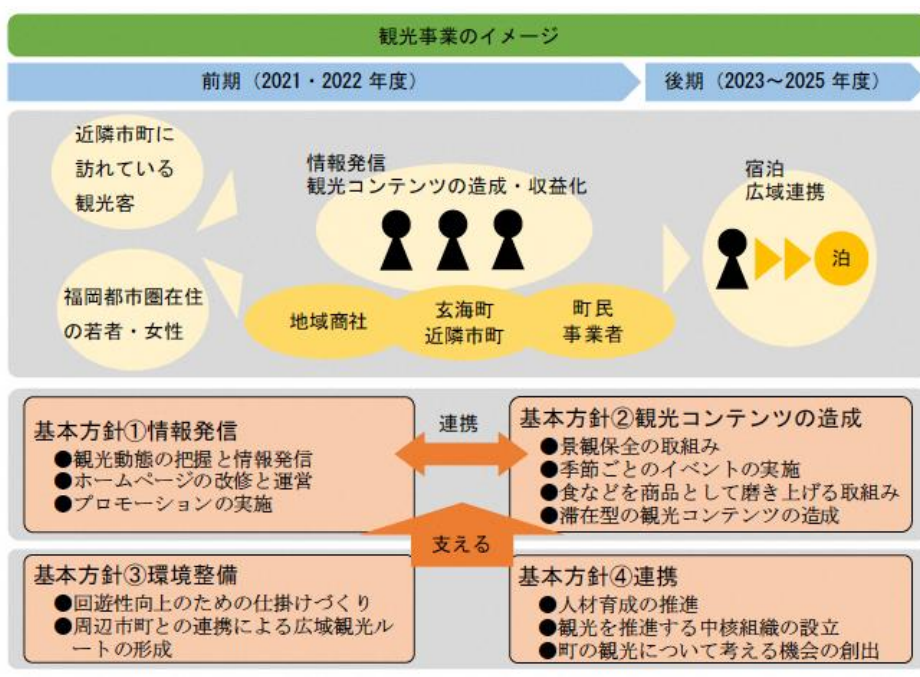
9

施策展開の コンセプト



10

基本方針



11

町内民宿が抱える構造的課題

発電所作業員特化型からの脱却

歴史的背景

昭和50年代から、原子力発電所の定期検査等に伴う作業員の宿泊施設として営業を開始され、特化してきた経緯があります。

現在の苦境

1号機・2号機の廃炉に伴い、これまでの主な客層であった作業員が減少し、宿泊稼働率が低下しています。

転換の必要性

何らかの形で、転換が必要な時期だといえます。

4

12

02

イタリアに学ぶ「暮らし」の資源化

5

13

現地で得た3つの「成功の鍵」

暮らしが資源

ありのままの日常
(アルベルゴ・ディフーズ
/マウロさん)

豪華な設備ではなく、「ありのままの暮らし」や「オーナーの人間味」が、北欧等の顧客を惹きつけていた。
⇒玄海町の民宿も、基本的な設備改修と「地元食材×おもてなし」のソフト面強化で勝負できるのではないかな。

行政のお墨付き
 信頼のブランド化
 (プーリア州政府)

州が「マッセリア・ディダッテカ（教育農場）」等の厳格な基準・ロゴを設け、ビジネスとしての自走を支援していた。Artexはデータに基づき伝統工芸を支援していた。
⇒行政の役割は、補助金交付等、「信頼できる宿の認証（ブランディング）」と「基準作り」などがある。

既存資源の強化
 食と体験の融合
 (トッレグランデ
/ユリエさん)

宿泊と朝食のみの提供からアグリツーリズムへ移行し、税制優遇を受けつつ「自社農産物の提供」で付加価値（客単価）を上げていた。
⇒「作業員宿舎（素泊まり・定食）」から「コース料理・体験（食・体験を楽しむ）」への業態転換により、経済効果を生む。

6

14

現地で得た3つの「成功の鍵」

暮らしが資源

ありのままの日常
(アルベルゴ・ディフーゾ
イル・カント・デルマッジョ/
マウロさん)

豪華な設備ではなく、「ありのままの暮らし」や「オーナーの人間味」が、北欧等の顧客を惹きつけていた。

⇒玄海町の民宿も、基本的な設備改修と「地元食材×おもてなし」のソフト面強化で勝負できるのではないかな。



6

15

現地で得た3つの「成功の鍵」

行政のお墨付き

信頼のブランド化
(プーリア州政府)

州が「マッセリア・ディダッテカ（教育農場）」等の厳格な基準・ロゴを設け、ビジネスとしての自走を支援していた。Artexはデータに基づき伝統工芸を支援していた。

⇒行政の役割は、補助金交付等、「信頼できる宿の認証（ブランディング）」と「基準作り」などがある。



Il nostro LOGO:



6

16

現地で得た3つの「成功の鍵」

既存資源の強化
食と体験の融合
(トッレグランデ
/ ユリエさん)

宿泊と朝食のみの提供からアグリツーリズモへ移行し、税制優遇を受けつつ「自社農産物の提供」で付加価値（客単価）を上げていた。
⇒「作業員宿舍（素泊まり・定食）」から「コース料理・体験（食・体験を楽しむ）」への業態転換により、経済効果を生む。



6

17

03 具体的施策：玄さんバッジ制度

7

18

「玄さんバッジ制度」の導入

地域資源を組み合わせる付加価値を高める町独自の認証制度

食の基準

玄海町産食材を3品以上使用し、生産者のストーリーを伝えること

空間の質

観光客がゆったりとくつろげる、清潔で快適な客室環境の確保



体験の提供

町内スポットの活用など、独自の滞在プランを提示すること

8

19

制度実現へのステップ

段階的な支援による確実な業態転換

認証基準の策定

モデル事業者の選定

メニュー・プラン
開発

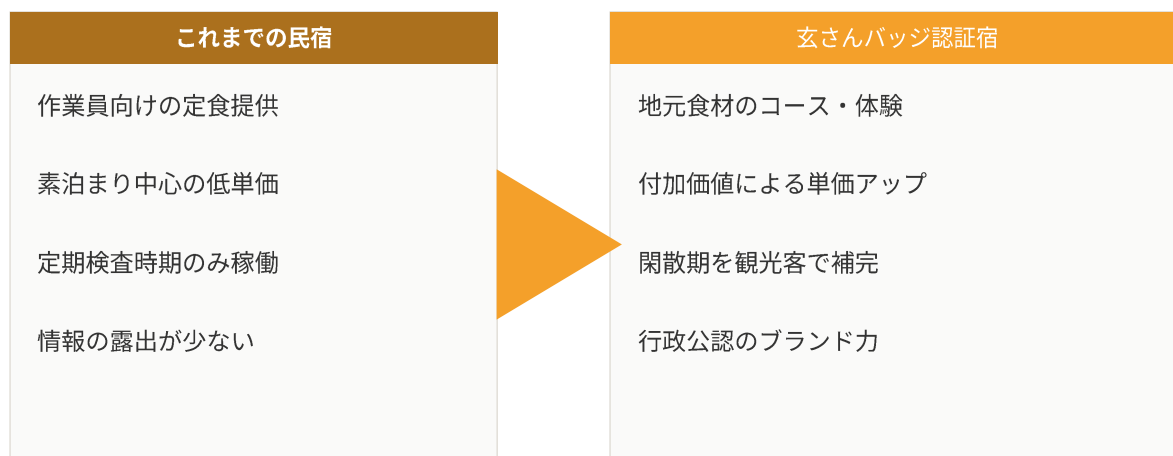
認証・
PR開始

9

20

期待される変化

「作業員宿舎」から「観光滞在拠点」への進化

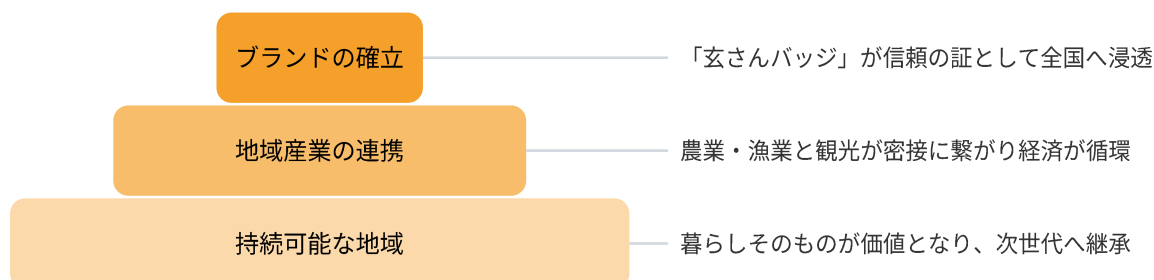


10

21

目指す将来像

地域全体が潤う循環型観光の実現



11

22

